



令和4・5年度 港区教育委員会研究奨励園

麻布幼稚園だより

令和5年9月号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

暑い、暑い夏休み、皆様いかがお過ごしでしたでしょうか。

園では今年度も、閉園期間中の栽培物への水遣りボランティアの皆様にお世話になりました。お陰様で野菜や花はとても元気です。大変に暑い中、ありがとうございました。

教職員はしっかりと休みをいただくとともに、各種研究会、研修会に参加をしてきました。園庭や園舎は各所修繕を行い、2学期以降に向けて準備を整えてきました。

子どもたちが、ぐんと成長をする2学期。日々を充実させていきたいと思えます。

立秋を過ぎ、朝夕の風にはほんの少し、秋を感じるようになりました。しかし、日中はこの時期としては異例の暑さが続く予報です。戸外での遊び、親子スポーツデーに向けての取組では、熱中症指数等を参照しながら、戸外での活動を控えたり、内容や時間に配慮したりしていきます。各家庭におかれましても、睡眠、朝食をしっかりとり、体調がすぐれない時には早めに休息をとるなど、ご配慮をお願いいたします。



子供たちは教師に、「見ててね！」と言ってくるのがよくあります。見ていてあげると、縄跳びなどを見せてくれることがあります。跳べた瞬間の「やったー！できた！」という表情はとても素敵です。そして、そのすぐ後に、見ていてくれた教師に向かって、うれしそうな、得意そうな表情を見せてくれます。1回跳べるようになると、次は2回、3回と、どんどん跳べるようになっていきます。子供たちが成長する力はすごいな、と思えます。

成長過程の子供たちには、初めてのこと、できないこと、うまくいかないことがたくさんあります。ですが、幼児には、「やってみよう。」「できるようになりたい。」という成長の元となる意欲があります。幼児がもっている意欲、成長する力を支え、生涯にわたりより多くの意欲をもち取り組む力の基礎を培って行ってあげたいと思えます。

挑戦する自分を見守ってしてくれる、安心できる
取り組んでいる姿を認め、励ましてくれる
できるようになったうれしさに共感してくれる

何がどのくらいできるようになったかということだけに目を向けるのではなく、何にどのように取り組んでいるのか、にしっかりと目を向けて行ってあげたいと思えます。ありのままの自分が認められているという安心感やまなざしに支えられ取り組み、「できた！」といううれしさを味わうことが次への意欲につながっていきます。そして、その積み重ねは、「やったらできるかもしれない。」「やってみよう。」と、自信をもち自ら取り組む力へとつながっていきます。

2学期も一人ひとりにたくさんの成長の姿が見られることでしょう。とても楽しみです。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。